



2018年度（平成31年3月期）
第2四半期決算

参考資料

2018年11月1日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

製品の安全性および品質に関するリスク、副作用発現のリスク、訴訟に関するリスク、法規制に関するリスク、知的財産に関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、ジェネリック医薬品に関するリスク、海外展開におけるリスク、他社とのパートナーシップに関するリスク、企業買収や製品買収等に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、財務報告に係る内部統制の整備等に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止のリスク、環境に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 株式の状況	17
12. 従業員数	18
13. 主要開発品	19

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2017年度 第2四半期	期中平均レート	111.06	126.28	143.61	16.42
	期末日レート	112.73	132.85	151.37	16.96
2017年度 通期	期中平均レート	110.85	129.70	147.03	16.74
	期末日レート	106.24	130.52	148.84	16.92
2018年度 第2四半期	期中平均レート	110.26	129.84	146.91	16.74
	期末日レート	113.57	132.14	148.53	16.50
2018年度	第3~4四半期予想レート	113.00	131.00	146.00	16.50

- 前回発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付しております。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本（医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品等）、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

	(億円、%)									
	2017年度				2018年度				2018年度 通期予想	
	2Q累計	売上比	通期	売上比	2Q累計	売上比	前同比	増減額	今回修正	前回発表
売上収益	2,851	100.0	6,001	100.0	3,101	100.0	108.8	251	6,365	6,320
売上原価	1,022	35.8	2,013	33.5	920	29.7	90.1	△ 101	1,870	1,865
売上総利益	1,829	64.2	3,988	66.5	2,181	70.3	119.2	352	4,495	4,455
販売費及び一般管理費	895	31.4	1,839	30.6	1,048	33.8	117.1	153	2,127	2,127
販売費	270	9.5	564	9.4	370	11.9	137.2	100	—	—
人件費	396	13.9	800	13.3	411	13.3	103.8	15	—	—
管理費他	229	8.0	474	7.9	267	8.6	116.5	38	—	—
研究開発費	661	23.2	1,396	23.3	650	21.0	98.3	△ 11	1,470	1,470
その他の収益	14	0.5	30	0.5	10	0.3	74.3	△ 3	2	2
その他の費用	10	0.3	11	0.2	10	0.3	99.8	△ 0	—	—
営業利益	277	9.7	772	12.9	484	15.6	174.4	206	900	860
金融収益	12	0.4	26	0.4	23	0.7	188.5	11	—	—
金融費用	15	0.5	30	0.5	10	0.3	67.3	△ 5	—	—
税引前四半期（当期）利益	274	9.6	768	12.8	497	16.0	180.9	222	908	860
法人所得税	71	2.5	224	3.7	133	4.3	188.1	62	—	—
四半期（当期）利益	204	7.1	544	9.1	363	11.7	178.5	160	635	600
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	188	6.6	518	8.6	327	10.5	173.5	138	605	575
非支配持分	15	0.5	26	0.4	37	1.2	239.0	21	—	—

四半期（当期）包括利益	321	11.3	538	9.0	613	19.8	190.8	292
-------------	-----	------	-----	-----	-----	------	-------	-----

EPS（円）	65.8	181.2	114.0	211.4	200.9
DPS（円）	70.0	150.0	70.0	150.0	150.0
ROE（%）	—	8.8	—	10.0	9.5
DOE（%）	—	7.3	—	7.1	7.1
海外売上収益比率（%）	45.9	49.6	51.5		

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS：基本的1株当たり当期利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> ・レンビマ、ヒュミラ、フィコンバの拡大による増加 ・中国、EMEAおよびアジア・ラテンアメリカ医薬品事業の二桁成長 ・「レンビマ」の米国、欧州および中国における肝細胞がんに係る適応の取得による米メルク社からのマイルストーンペイメントとして、222億円（米国：139億円、欧州：55億円、中国：28億円）を受領
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルブランド育成・拡大に向けた販促活動 ・「レンビマ」に関する米メルク社との戦略的提携に基づく折半利益79億円を費用計上
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> ・「レンビマ」の単剤療法および米メルク社の抗PD-1抗体「キイトルーダ」との併用療法ならびにβサイト切断酵素阻害剤「E2609」（一般名：elenbecestat）をはじめとしたアルツハイマー病領域などへの積極的な研究開発投資 ・パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制（自社主要品に関するパートナーからの戻入額：243億円）
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> ・売上収益：+7.9億円、営業利益：+6.1億円
■為替感応度 （1円の円高に対しての年間影響額）	<ul style="list-style-type: none"> ・売上収益：米ドル △11.9億円、ユーロ △3.1億円、英ポンド △0.5億円、人民元 △38.1億円 ・営業利益：米ドル △0.3億円、ユーロ △2.1億円、英ポンド+2.0億円、人民元 △17.1億円

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2017年度		2018年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	2,791	5,532	2,824	101.2	100.9
日本 医薬品事業	1,509	2,962	1,577	104.5	104.5
アメリカス 医薬品事業	575	1,139	428	74.5	75.0
米国	570	1,129	422	74.1	74.6
中国 医薬品事業	280	562	318	113.9	111.7
EMEA 医薬品事業	212	443	254	120.0	118.2
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	216	426	247	114.2	113.8
その他事業	60	468	277	461.7	461.2
連結売上収益	2,851	6,001	3,101	108.8	108.5

* 外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2017年度		2018年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	976	1,914	1,081	110.8	110.4
日本 医薬品事業	556	1,044	600	107.8	107.8
アメリカス 医薬品事業	200	436	169	84.8	85.5
中国 医薬品事業	84	155	115	137.2	133.9
EMEA 医薬品事業	73	154	112	153.1	153.0
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	63	124	85	134.8	131.6
その他事業	22	380	234	1058.0	1056.8
研究開発費	△661	△1,396	△650	98.3	98.7
親会社の本社管理費等*	△60	△126	△182	304.7	304.7
連結営業利益	277	772	484	174.4	172.2

* パートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含む

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	1,509	2,962	1,577	104.5
医療用医薬品	1,263	2,467	1,332	105.5
ジェネリック医薬品	136	278	122	89.8
一般用医薬品等	110	217	123	111.9
セグメント利益	556	1,044	600	107.8
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	218	434	239	109.6
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	132	265	138	104.9
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	133	244	98	73.7
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	90	172	78	87.0
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	92	172	68	73.9
不眠症治療剤 ルネスタ	50	102	55	110.5
抗がん剤 ハラヴェン	47	93	49	104.6
抗がん剤 レンピマ	15	30	43	285.9
抗がん剤 トレアキシシ	35	69	37	106.0
成分栄養剤 エレンタール*	34	66	33	96.1
経口抗凝固剤 ワーファリン	32	60	28	89.5
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	31	59	26	81.4
抗てんかん剤 フィコンパ	7	17	14	189.8
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	72	139	80	111.2

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米)

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	575	1,139	428	74.5
米国	570	1,129	422	74.1
セグメント利益	200	436	169	84.8
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	100	219	144	143.6
米国 (百万米ドル)	100 (90)	218 (196)	143 (130)	143.2 <144.2>
抗てんかん剤 Banzel	80	166	85	106.5
米国 (百万米ドル)	79 (71)	164 (148)	84 (76)	106.4 <107.2>
抗がん剤 ハラヴェン	80	157	81	100.8
米国 (百万米ドル)	79 (71)	154 (139)	79 (72)	100.4 <101.1>
抗てんかん剤 Fycompa	32	69	45	140.2
米国 (百万米ドル)	30 (27)	66 (60)	43 (39)	141.9 <142.9>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	31	60	22	70.5
米国 (百万米ドル)	(28)	(54)	(20)	<71.0>
肥満症治療剤 Belviaq	20	36	19	97.3
米国 (百万米ドル)	(18)	(32)	(17)	<98.0>
制吐剤 Aloxi	215	396	15	7.2
米国 (百万米ドル)	214 (193)	396 (357)	15 (14)	7.2 <7.2>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アメリカスでは、米国のみがアシフェックス、Belviaqの自社販売国になります。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	280	562	318	113.9
セグメント利益	84	155	115	137.2
中国 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	102 (621)	188 (1,121)	104 (624)	102.4 <100.4>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強カネオミノファーゲンシー/グリチロン錠 (百万人民元)	48 (291)	102 (608)	51 (307)	107.7 <105.7>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	35 (215)	75 (449)	49 (290)	137.7 <135.1>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	23 (142)	45 (267)	29 (173)	124.3 <121.9>

* 前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	212	443	254	120.0
セグメント利益	73	154	112	153.1
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 ハラヴェン	58	121	61	105.5 <104.5>
抗がん剤 レンビマ/Kispplx	26	58	37	142.5 <140.5>
抗てんかん剤 Fycompa	24	54	30	121.1 <119.1>
抗てんかん剤 Zebinix	26	49	28	106.0 <103.4>
抗てんかん剤 ゾネグラン	22	44	20	93.0 <91.6>
抗てんかん剤 イノベロン	11	23	11	103.6 <101.7>

* 前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	216	426	247	114.2
セグメント利益	63	124	85	134.8
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	60	116	66	110.6 <109.4>
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	58	112	61	103.9 <102.5>
抗がん剤 レンビマ	6	15	20	349.3 <353.9>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	21	39	19	90.2 <89.9>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	17	31	18	108.0 <109.1>
抗がん剤 ハラヴェン	16	28	13	78.2 <78.9>
抗てんかん剤 Fycompa	3	6	4	151.1 <150.8>

- ・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
ニューロロジー領域製品計	869	1,708	889	102.3 <101.9>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	233	443	213	91.3 <90.5>
日本	133	244	98	73.7
中国	35	75	49	137.7 <135.1>
アジア・ラテンアメリカ	58	112	61	103.9 <102.5>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	213	401	205	96.4 <95.6>
日本	90	172	78	87.0
中国	102	188	104	102.4 <100.4>
アジア・ラテンアメリカ	17	31	18	108.0 <109.1>
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症))・日本	132	265	138	104.9
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	93	193	99	106.3 <106.7>
アメリカス	80	166	85	106.5 <107.3>
EMEA	11	23	11	103.6 <101.7>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	66	147	92	139.1 <138.9>
日本	7	17	14	189.8
アメリカス	32	69	45	140.2 <141.2>
EMEA	24	54	30	121.1 <119.1>
アジア・ラテンアメリカ	3	6	4	151.1 <150.8>
ルネスタ (不眠症治療剤)・日本	50	102	55	110.5
Zebinix (抗てんかん剤)・EMEA	26	49	28	106.0 <103.4>
ソネグラン (抗てんかん剤)	24	49	23	93.9 <92.7>
EMEA	22	44	20	93.0 <91.6>
Belvia (肥満症治療剤)	26	48	21	81.6 <82.2>
米国	20	36	19	97.3 <98.0>
その他	5	12	14	289.8

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2017年度		2018年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
オンコロジー領域製品計	637	1,264	547	85.9 <86.0>
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	147	322	245	166.0 <166.6>
日本	15	30	43	285.9
アメリカス	100	219	144	143.6 <144.6>
EMEA	26	58	37	142.5 <140.5>
アジア・ラテンアメリカ	6	15	20	349.3 <353.9>
ハラヴェン (抗がん剤)	202	399	204	101.2 <101.3>
日本	47	93	49	104.6
アメリカス	80	157	81	100.8 <101.5>
EMEA	58	121	61	105.5 <104.5>
アジア・ラテンアメリカ	16	28	13	78.2 <78.9>
トレアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	36	72	38	106.3 <106.2>
Aloxi (制吐剤)・アメリカス	215	396	15	7.2 <7.2>
その他	37	75	45	120.4 <118.6>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2018年度）

（億円）

	2017年度		2018年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	通期予想 今回修正	前回発表
日本	1,509	2,962	1,577	2,965	2,960
医療用医薬品	1,263	2,467	1,332	2,475	2,470
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	218	434	239	450	450
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	133	244	98	180	180
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	90	172	78	140	140
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	92	172	68	130	130
不眠症治療剤 ルネスタ	50	102	55	110	110
抗がん剤 ハラヴェン	47	93	49	95	95
抗がん剤 レンビマ	15	30	43	75	75
成分栄養剤 エレンタール*	34	66	33	65	65
経口抗凝固剤 ワーファリン	32	60	28	50	50
抗てんかん剤 フィコンパ	7	17	14	40	40
ジェネリック医薬品	136	278	122	260	260
一般用医薬品等	110	217	123	230	230
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	72	139	80	145	145
アメリカス	575	1,139	428	960	950
米国	570	1,129	422	930	920
中国	280	562	318	640	630
EMEA	212	443	254	510	510
アジア・ラテンアメリカ	216	426	247	480	460
その他	60	468	277	810	810
連結売上収益	2,851	6,001	3,101	6,365	6,320
主要品目グローバル売上収益					
レンビマ/Kispolyx	147	322	245	600	585
日本	15	30	43	75	75
アメリカス	100	219	144	400	400
中国	—	—	—	5	3
EMEA	26	58	37	90	90
アジア・ラテンアメリカ	6	15	20	30	17
ハラヴェン	202	399	204	430	430
日本	47	93	49	95	95
アメリカス	80	157	81	170	170
EMEA	58	121	61	135	135
アジア・ラテンアメリカ	16	28	13	30	30
フィコンパ/Fycompa	66	147	92	215	215
日本	7	17	14	40	40
アメリカス	32	69	45	95	95
EMEA	24	54	30	72	72
アジア・ラテンアメリカ	3	6	4	8	8
Belvia	26	48	21	50	50
アメリカス	20	36	19	40	40
アリセプト	233	443	213	390	390
パリエット/アシフェックス	169	320	140	260	260

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2017年度		2018年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	増減額
四半期（当期）利益	204	544	363	178.5	160
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	33	67	43	130.0	10
確定給付制度に係る再測定	—	42	—	—	—
小計	33	110	43	130.0	10
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	84	△ 118	205	245.0	122
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1	2	1	170.3	0
小計	85	△ 116	207	244.3	122
その他の包括利益合計	118	△ 6	250	212.0	132
四半期（当期）包括利益	321	538	613	190.8	292
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	306	512	576	188.3	270
非支配持分	15	26	37	239.9	21

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2017年度	2018年度	
	2Q累計	2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	274	497	222
減価償却費及び償却費	128	137	9
減損損失	—	41	41
運転資本の増減額（△は増加）	△ 200	△ 49	150
利息及び配当金の受取額	10	21	11
利息の支払額	△ 13	△ 9	5
法人所得税の支払額	△ 68	△ 100	△ 32
法人所得税の還付額	18	14	△ 5
その他	△ 23	△ 51	△ 28
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	499	373
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 54	△ 47	8
有形固定資産の売却による収入	3	0	△ 2
無形資産の取得による支出	△ 83	△ 40	43
子会社株式売却に係る前受金の受領額	—	34	34
金融資産の取得による支出	△ 45	△ 0	45
金融資産の売却・償還による収入	92	8	△ 85
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△ 88	△ 45	43
3カ月超預金の預入による支出	△ 316	△ 6	309
3カ月超預金の払戻による収入	308	7	△ 301
その他	△ 0	△ 1	△ 1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 45	51
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	65	△ 114	△ 179
長期借入れによる収入	—	50	50
長期借入金の返済による支出	—	△ 50	△ 50
配当金の支払額	△ 229	△ 229	△ 0
その他	△ 3	△ 2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 167	△ 345	△ 179
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	104	70
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 103	213	316
現金及び現金同等物の期首残高	1,868	2,705	837
現金及び現金同等物の期末残高	1,765	2,918	1,153

フリー・キャッシュ・フロー	38	454	416
---------------	----	-----	-----

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - ・四半期税引前利益の増加に加えて棚卸資産の圧縮などで運転資本が改善
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - ・子会社株式売却に係る前受金受領による収入が発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - ・配当金の支払が発生

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2017年度		2018年度			
	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	通期予想 今回修正	前回発表
資本的支出額（キャッシュベース）	137	247	87	△ 51	380	280
有形固定資産	54	105	47	△ 8	200	130
無形資産	83	142	40	△ 43	180	150
減価償却費及び償却費	128	262	137	9	280	260
有形固定資産	54	111	58	3	120	110
無形資産	74	151	79	5	160	150

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2017年度		2018年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,031	9.8	939	8.7	91.2	△ 91
のれん	1,650	15.7	1,761	16.3	106.8	111
無形資産	1,074	10.2	1,051	9.7	97.8	△ 24
その他の金融資産	478	4.6	541	5.0	113.3	63
その他	146	1.4	155	1.4	105.9	9
繰延税金資産	753	7.2	725	6.7	96.4	△ 27
非流動資産合計	5,131	48.9	5,173	47.9	100.8	41
流動資産						
棚卸資産	809	7.7	710	6.6	87.8	△ 99
営業債権及びその他の債権	1,515	14.4	1,493	13.8	98.5	△ 22
その他の金融資産	187	1.8	187	1.7	100.3	1
その他	143	1.4	139	1.3	97.1	△ 4
現金及び現金同等物	2,705	25.8	2,918	27.0	107.9	213
小計	5,359	51.1	5,447	50.4	101.6	88
売却目的で保有する資産	—	—	182	1.7		182
流動資産合計	5,359	51.1	5,629	52.1	105.0	270
資産合計	10,490	100.0	10,802	100.0	103.0	312

<コメント>

- 資産の部
 - ・現金及び現金同等物の増加

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2017年度		9月末	2018年度		
	3月末	構成比		構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.3	450	4.2	100.0	—
資本剰余金	776	7.4	776	7.2	100.0	△ 0
自己株式	△ 353	△ 3.4	△ 349	△ 3.2	99.0	4
利益剰余金	4,150	39.6	4,295	39.8	103.5	145
その他の資本の構成要素	913	8.7	1,120	10.4	122.6	207
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,936	56.6	6,291	58.2	106.0	356
非支配持分	205	2.0	245	2.3	119.6	40
資本合計	6,141	58.5	6,537	60.5	106.4	396
負債						
非流動負債						
借入金	1,567	14.9	1,240	11.5	79.1	△ 328
その他の金融負債	30	0.3	26	0.2	86.9	△ 4
退職後給付に係る負債	111	1.1	112	1.0	101.7	2
引当金	14	0.1	14	0.1	100.5	0
その他	206	2.0	199	1.8	96.9	△ 6
繰延税金負債	5	0.0	1	0.0	27.4	△ 4
非流動負債合計	1,933	18.4	1,593	14.7	82.4	△ 340
流動負債						
借入金	164	1.6	400	3.7	243.8	236
営業債務及びその他の債務	681	6.5	521	4.8	76.5	△ 160
その他の金融負債	516	4.9	493	4.6	95.4	△ 24
未払法人所得税	90	0.9	100	0.9	110.6	10
引当金	160	1.5	180	1.7	112.1	19
その他	805	7.7	905	8.4	112.5	101
小計	2,417	23.0	2,598	24.1	107.5	182
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	—	74	0.7	—	74
流動負債合計	2,417	23.0	2,673	24.7	110.6	256
負債合計	4,349	41.5	4,265	39.5	98.1	△ 84
資本及び負債合計	10,490	100.0	10,802	100.0	103.0	312

<コメント>

- 資本の部
 - ・ 配当金の支払いを上回る四半期利益により利益剰余金が増加
 - ・ 円安による為替換算差額の増加に伴うその他の資本の構成要素の増加
- 負債の部
 - ・ 営業債務およびその他の債務と借入金の減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2017年度				2018年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	1,419	1,432	1,549	1,601	1,533	1,568
売上原価	494	528	540	451	480	440
売上総利益	925	905	1,008	1,151	1,053	1,128
販売費及び一般管理費	443	452	461	483	506	542
販売費	132	137	144	151	173	197
人件費	200	195	198	206	199	212
管理費他	110	119	119	126	134	133
研究開発費	332	329	359	376	341	309
その他の収益	6	7	3	14	1	9
その他の費用	4	5	1	1	1	9
営業利益	151	126	190	305	206	278
金融収益	7	5	8	6	12	11
金融費用	7	8	8	7	5	5
税引前四半期利益	151	123	190	304	213	284
法人所得税	45	25	87	66	56	77
四半期利益	106	98	103	238	157	206
四半期利益の帰属						
親会社所有者	98	90	93	237	123	203
非支配持分	8	8	10	0	34	3
四半期包括利益	152	169	188	28	272	341
EPS (円)	34.3	31.5	32.5	82.9	43.0	71.1

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2017年度				2018年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△37	163	262	1,109	123	376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104	9	△6	272	△16	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117	△50	△123	△529	△54	△291
現金及び現金同等物の期末残高	1,622	1,765	1,910	2,705	2,797	2,918
フリー・キャッシュ・フロー	△137	176	246	1,083	107	347

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2017年度				2018年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資本的支出額（キャッシュベース）	96	41	54	56	55	31
有形固定資産	34	21	19	32	29	18
無形資産	62	20	35	24	27	13
減価償却費及び償却費	64	64	66	68	69	68
有形固定資産	27	27	28	29	29	28
無形資産	37	37	38	39	40	40

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2017年度				2018年度	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産	10,204	10,346	10,482	10,490	10,666	10,802
資本	5,950	6,121	6,109	6,141	6,194	6,537
親会社の所有者に帰属する持分	5,763	5,926	5,904	5,936	5,952	6,291
負債	4,254	4,225	4,372	4,349	4,472	4,265
借入金	2,248	2,202	2,282	1,731	1,920	1,639
親会社所有者帰属持分比率（％）	56.5	57.3	56.3	56.6	55.8	58.2
負債比率（Net DER／倍）	△0.06	△0.08	△0.10	△0.27	△0.25	△0.31

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2017年度				2018年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ニューロロジー領域製品計	430	439	465	374	453	436
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	118	116	121	89	111	103
日本	70	63	70	41	53	44
中国	16	19	21	19	23	26
アジア・ラテンアメリカ	27	31	27	27	31	30
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	104	109	107	81	107	99
日本	46	43	48	34	41	37
中国	49	53	48	37	55	49
アジア・ラテンアメリカ	7	10	7	6	9	10
リリカ (疼痛治療剤)・日本	67	65	73	60	71	67
イノベロン/Banzei (抗てんかん剤)	47	46	54	45	48	51
アメリカス	41	39	47	39	40	44
EMEA	5	6	6	6	6	6
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	32	34	39	41	45	47
日本	3	4	5	4	7	7
アメリカス	16	16	18	20	21	23
EMEA	12	13	14	15	15	14
アジア・ラテンアメリカ	1	2	2	2	2	2
ルネスタ (不眠症治療剤)・日本	25	25	30	22	29	27
Zebinix (抗てんかん剤)・EMEA	10	16	14	8	14	14
ソネグラン (抗てんかん剤)	12	12	13	12	12	11
EMEA	11	11	11	11	10	10
Belvia (肥満症治療剤)	11	14	11	11	10	11
米国	10	10	8	8	10	9
その他	3	2	3	4	8	7

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2017年度				2018年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
オンコロジー領域製品計	311	326	339	287	281	266
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	73	75	87	88	119	126
日本	8	8	8	6	19	24
アメリカス	49	52	58	61	69	75
EMEA	13	13	16	16	19	18
アジア・ラテンアメリカ	3	2	5	4	11	9
ハラヴェン (抗がん剤)	97	105	104	93	102	102
日本	23	24	27	19	25	24
アメリカス	40	40	42	35	40	41
EMEA	28	30	32	31	30	31
アジア・ラテンアメリカ	6	11	4	7	7	6
トレアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)	18	18	20	16	20	18
Aloxi (制吐剤)・アメリカス	106	108	107	74	16	△1
その他	17	20	20	18	24	21

11. 株式の状況

1) 株式数・株主数の状況

2018年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	10,135,820株	48,903名	6.064株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

2) 大株主の状況

2018年9月30日現在

株主名	持株数	発行済株式（自己株式を除く）の総数に対する所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	31,344千株	10.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	30,521千株	10.66
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	18,075千株	6.31
日本生命保険相互会社	12,281千株	4.29
株式会社埼玉りそな銀行	7,300千株	2.55
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	5,437千株	1.90
再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	4,666千株	1.63
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	4,337千株	1.51
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口7）	4,033千株	1.41

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

・自己株式は10,135千株（発行済株式の総数に対する所有割合3.42%）であり、議決権がないため表中に記載していません。

・当第2四半期末までに以下の大量保有報告書（変更報告書）が提出されていますが、当第2四半期末の株主名簿で確認できない場合、または保有株式数が上位10位に該当しない場合は、表中に記載していません。なお、（ ）内の保有割合は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する割合（切り捨て表示）です。

- ① 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ他、全4社の共同保有として、16,113千株（5.43%）を2015年7月13日現在で保有（2015年7月21日付変更報告書）
- ② ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー他、全2社の共同保有として、27,087千株（9.13%）を2015年7月31日現在で保有（2015年8月7日付変更報告書）
- ③ 三井住友信託銀行株式会社他、全3社の共同保有として、14,926千株（5.03%）を2016年4月15日現在で保有（2016年4月21日付大量保有報告書）
- ④ 株式会社みずほ銀行他、全2社の共同保有として、18,900千株（6.37%）を2016年10月14日現在で保有（2016年10月21日付大量保有報告書）
- ⑤ ハンガード・ヘルスケア・ファンドの保有として、14,838千株（5.00%）を2016年11月24日現在で保有（2016年12月15日付大量保有報告書）
- ⑥ ブラックロック・ジャパン株式会社他、全11社の共同保有として、18,308千株（6.17%）を2017年8月15日現在で保有（2017年8月21日付変更報告書）
- ⑦ 野村アセットマネジメント株式会社の保有として、14,963千株（5.05%）を2018年3月15日現在で保有（2018年3月22日付大量保有報告書）

3) 所有者別株主数推移

	2018年		2018年		増減(名)
	3月末(名)	構成比(%)	9月末(名)	構成比(%)	
金融機関	145	0.2	124	0.3	△21
金融商品取引業者（証券会社）	38	0.1	44	0.1	6
その他の法人	810	1.3	761	1.6	△49
外国法人等	707	1.2	824	1.7	117
個人・その他	59,247	97.2	47,149	96.4	△12,098
自己株式	1	0.0	1	0.0	0
合計	60,948	100.0	48,903	100.0	△12,045

4) 所有者別所有株式数推移

	2018年		2018年		増減
	3月末	構成比(%)	9月末	構成比(%)	
金融機関	132,334千株	44.6	129,377千株	43.6	△2,956千株
金融商品取引業者（証券会社）	7,846千株	2.6	10,566千株	3.6	2,720千株
その他の法人	20,945千株	7.1	21,062千株	7.1	116千株
外国法人等	81,943千株	27.6	88,799千株	29.9	6,856千株
個人・その他	43,268千株	14.6	36,625千株	12.3	△6,643千株
自己株式	10,228千株	3.4	10,135千株	3.4	△92千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

5) 所有株数別株主数推移

	2018年		9月末(名)	2018年	
	3月末(名)	構成比(%)		構成比(%)	増減(名)
100万株以上	47	0.1	48	0.1	1
10万~100万株未満	144	0.2	151	0.3	7
1万~10万株未満	721	1.2	694	1.4	△27
1,000~1万株未満	10,560	17.3	8,865	18.1	△1,695
100~1,000株未満	45,662	74.9	35,326	72.2	△10,336
100株未満	3,814	6.3	3,819	7.8	5
合計	60,948	100.0	48,903	100.0	△12,045

6) 所有株数別分布推移

	2018年		9月末	2018年	
	3月末	構成比(%)		構成比(%)	増減
100万株以上	200,813千株	67.7	202,457千株	68.3	1,643千株
10万~100万株未満	44,312千株	14.9	48,002千株	16.2	3,690千株
1万~10万株未満	18,737千株	6.3	18,844千株	6.4	106千株
1,000~1万株未満	22,369千株	7.5	19,182千株	6.5	△3,186千株
100~1,000株未満	10,205千株	3.4	7,953千株	2.7	△2,251千株
100株未満	128千株	0.0	126千株	0.0	△2千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

12. 従業員数

1) 連結従業員数

	(人)			
	2016年 3月末	2017年 3月末	2018年 3月末	2018年 9月末
連結期末従業員数	9,877	10,452	10,456	10,508
日本	4,523	5,009	4,914	4,953
アメリカス(北米)	1,290	1,296	1,240	1,229
中国	1,875	1,909	1,906	1,916
EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)	913	983	1,022	1,016
アジア・ラテンアメリカ	1,276	1,255	1,374	1,394

2) 個別従業員数

	(人)			
	2016年 3月末	2017年 3月末	2018年 3月末	2018年 9月末
個別期末従業員数	3,504	3,246	3,172	3,177
生産	459	459	415	429
研究	871	878	883	876
販売・管理	2,174	1,909	1,874	1,872

・期末従業員数は、就業人員数(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)を表示しています。

13. 主要開発品

<自社開発品一覧>

品目／開発コード	効能追加**	開発ステージ***	領域
承認取得品			
◎ レンビマ（肝細胞がん）	効能	（米欧中ア）承認	がん
◎ フィコンパ（てんかん小児適応）	効能	（米）承認	神経
◎ モビコール（慢性便秘症）*		（日）承認	消化器
申請中・申請準備中開発品			
ハラヴェン（乳がん）		（中）申請	がん
◎ フィコンパ（部分てんかん併用療法）		（中）申請	神経
◎ ME2125（パーキンソン病）		（日）申請	神経
臨床試験中開発品			
E2006（不眠障害）		（日米欧）PⅢ	神経
E2609（早期アルツハイマー病）		（日米欧中）PⅢ	神経
BIB037（早期アルツハイマー病）		（日米欧）PⅢ	神経
○ レンビマ（子宮内膜がん・セカンドライン・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（日米欧）PⅢ	がん
AJM300（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅢ	消化器
リーバクト（低アルブミン血症）		（中）PⅢ	消化器
フィコンパ（レノックス・ガストー症候群）	効能	（日米欧）PⅢ	神経
フィコンパ（てんかん小児適応）	効能	（日欧）PⅢ	神経
フィコンパ（部分てんかん単剤療法）	効能	（日）PⅢ	神経
レンビマ（甲状腺がん）	効能	（中）PⅢ	がん
レンビマ（腎細胞がん・ファーストライン・エベロリムスまたは抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）	効能	（日米欧）PⅢ	がん
BAN2401（早期アルツハイマー病）		（日米欧）PⅡ	神経
E2006（アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害）		（日米）PⅡ	神経
E2027（レビー小体型認知症）		（日米欧）PⅡ/Ⅲ	神経
◎ E2730（てんかん）		（米）PⅡ	神経
◎ E2082（てんかん）		（米）PⅡ / （日）PⅠ	神経
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧）PⅡ	がん
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん
E7777（末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫）		（日）PⅡ	がん
E7438（B細胞性非ホジキンリンパ腫）		（日）PⅡ	がん
ハラヴェン（乳がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（固形がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ（日）PⅠ	がん
E6007（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅡ	消化器
E6011（関節リウマチ）		（日）PⅡ	その他
E6011（原発性胆汁性胆管炎）*		（日）PⅡ	その他
◎ E6011（クローン病）*		（日欧）PⅡ	その他
ハラヴェン（膀胱がん）	効能	（米欧）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（非小細胞肺癌 RET 転座）	効能	（日米欧ア）PⅡ	がん
レンビマ（胆道がん）	効能	（日）PⅡ	がん
ハラヴェン（乳がん・PEGPH20との併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
H3B-6545（乳がん）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
Belvia（肥満症）		（日）PⅠ	神経
E7090（固形がん）		（日）PⅠ	がん
H3B-6527（肝細胞がん）		（米欧）PⅠ	がん
H3B-8800（血液がん）		（米欧）PⅠ	がん
レンビマ（肝細胞がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（日米）PⅠ	がん
E7386（固形がん）		（欧）PⅠ	がん
MORAb-202（固形がん）		（日）PⅠ	がん
レンビマ（肝細胞がん・抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法）		（日）PⅠ	がん
E7130（固形がん）		（日）PⅠ	がん
MORAb-022（関節リウマチ）		（米）PⅠ	その他
E6742（自己免疫疾患）		（米）PⅠ	その他
ハラヴェン（リボソーム製剤）	剤形	（日欧）PⅠ	がん

* EA ファーマ開発品、** 効能：効能効果追加、剤形：剤形追加

*** 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

OE6130について、日本でフェーズⅠ段階にありました炎症性腸疾患を対象とした開発を中止したため、本表から削除しました。
OMORAb-066について、米国でフェーズⅠ段階にありました固形がんを対象とした開発を中止したため、本表から削除しました。

○：2018年4月以降の進捗、◎：2018年7月以降の進捗

(1) 神経

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：フィコンパ/Fycompa

薬効/作用機序：抗てんかん剤/AMPA受容体拮抗剤			自社品		
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、アジアなど、55カ国以上で承認を取得しています。また、米国では、4歳以上のてんかん患者様の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する単剤療法での承認を取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど50カ国以上で承認を取得しています。米国では、経口懸濁液の承認を取得し、販売しています。					
部分てんかん単剤療法（効能追加）	342試験	日本 PⅢ	2018年度申請予定	経口剤	
レノックス・ガスター症候群（効能追加）	338試験	日米欧 PⅢ	経口剤		
てんかん小児適応（効能追加）	311試験	◎ 米国 承認（2018年9月） 日欧 PⅢ	2018年度申請予定	経口剤	
◎ 部分てんかん併用療法	335試験	中国 申請（2018年10月受理）	経口剤		

開発品コード：E2006 一般名：レンボレキサント

薬効/作用機序：オレキシン受容体拮抗剤			自社品		
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発・維持を期待しています。					
不眠障害	303/304試験	日米欧 PⅢ	2018年度申請予定 Purdue Pharmaと共同開発	経口剤	
アルツハイマー病/認知症に伴う 不規則睡眠覚醒リズム障害	202試験	日米 PⅡ	Purdue Pharmaと共同開発	経口剤	

開発品コード：E2609 一般名：elenbecestat

薬効/作用機序：アルツハイマー病治療剤/ β サイト切断酵素（BACE）阻害剤			自社品		
[概要] アミロイド前駆体タンパク質の β サイト切断酵素であるBACEを阻害することで、ベータアミロイドの総量を低下させ、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。					
早期アルツハイマー病	301/302試験 (MISSION AD1/2)	日米欧中 PⅢ	Biogen Inc.と共同開発	経口剤	

開発品コード：BIIB037 一般名：aducanumab

薬効/作用機序：アルツハイマー病治療剤/抗A β 抗体			導入品（Biogen Inc.）		
[概要] Aducanumabは、リバース・トランスレーショナル・メディシン（RTM）と呼ばれるNeurimmune社のテクノロジー・プラットフォームを用いて作成されたヒト遺伝子組換えモノクローナル抗体（mAb）であり、認知障害の兆候のない健康な高齢者、または進行が異常に遅い認知機能障害のある高齢者から採取した、非特定化B細胞ライブラリーに由来します。Biogen Inc.は、Neurimmune社よりaducanumabを導入しました。Aducanumabは、可溶性オリゴマーと不溶性線維などが凝集してアミロイドプラークを形成しうる形態のベータアミロイド（A β ）を標的とすると考えられています。					
早期アルツハイマー病	ENGAGE/EMERGE 試験	日米欧 PⅢ	Biogen Inc.と共同開発	注射剤	

開発品コード：BAN2401

薬効/作用機序：アルツハイマー病治療剤/抗A β プロトフィブリルモノクローナル抗体			導入品（BioArctic AB）		
[概要] ベータアミロイド（A β ）プロトフィブリルに対するIgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているA β プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。					
早期アルツハイマー病	201試験	日米欧 PⅡ	Biogen Inc.と共同開発	注射剤	

開発品コード：ME2125 一般名：サフィナミド

薬効/作用機序：パーキンソン病治療剤/モノアミン酸化酵素B阻害剤			導入品（Meiji Seikaファルマ）		
[概要] 選択的なモノアミン酸化酵素B（MAO-B）阻害作用により、分泌されたドパミンの分解を抑制してドパミンの脳内濃度維持を助けます。また、ナトリウムイオンチャネル阻害作用を介したグルタミン酸放出抑制作用を有することから、ドパミン作動性作用と非ドパミン作動性作用を併せ持つ、新たなパーキンソン病治療薬となることを期待しています。					
◎ パーキンソン病	日本 申請（2018年10月）			経口剤	

○：2018年4月以降の進捗、◎：2018年7月以降の進捗

開発品コード： E2027

薬効／作用機序：レビー小体型認知症治療剤／ホスホジエステラーゼ（PDE）9阻害剤	自社品
[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ（PDE）9阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリックGMP（cGMP）の分解を抑制し、cGMPの脳内濃度維持することにより、レビー小体型認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。	
レビー小体型認知症	201試験 (DELPHIA) 日米欧 P II / III 経口剤

開発品コード： E2730

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／シナプス機能モジュレーター	自社品
[概要] 活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する新規作用機序を持つ化合物です。希少てんかんを含むてんかんや、てんかん原性等に対する新たな神経疾患治療薬になることを期待しています。	
◎ てんかん	201試験 米国 P II 経口剤

開発品コード： E2082

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／AMPA受容体拮抗剤	自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の作用を阻害する次世代AMPA受容体拮抗剤です。てんかんを含む新たな神経疾患治療薬、特に、てんかん原性等に対する治療薬になることを期待しています。	
てんかん	201試験 ◎ 米国 P II 日本 P I 経口剤

開発品コード： APD356 一般名：lorcaserin 製品名：Belvia

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤	導入品 (Arena Pharmaceuticals)
[概要] 新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、Body Mass Index (BMI) が30kg/m ² 以上、あるいは少なくとも1つ以上の体重に関連する合併症を有するBMIが27kg/m ² 以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局（FDA）より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。2016年7月にメキシコ、2016年12月にブラジルにおいて、それぞれ承認を取得しました。また、米国では1日1回製剤の承認を取得し、販売しています。	
肥満症	日本 P I 経口剤

(2) がん

開発品コード： E7389 一般名：エリブリン 製品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤	自社品
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、アジアなど、65カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど、50カ国以上において脂肪肉腫(日本では悪性軟部腫瘍)に係る適応追加の承認を取得しています。	
乳がん	304試験 中国 申請（2017年11月受理） 注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験 米欧 P I / II 注射剤
トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）	218試験 米国 P I / II Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ, USA 注射剤 (米メルク社)と共同開発
HER2陰性乳がん（PEGPH20との併用療法）	219試験 米国 P I / II Halozymeと共同開発 注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	— 日欧 P I 注射剤

○：2018年4月以降の進捗、◎：2018年7月以降の進捗

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンピマ/Kisplyx

薬効/作用機序：抗がん剤/分子標的治療薬		自社品			
<p>[概要]血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ(RTK)に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど50カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がん(セカンドライン)のエベロリムスとの併用療法に係る適応で、米国、欧州など45カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名Kisplyxを使用しています。さらに、肝細胞がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど35カ国以上において承認を取得しています。</p>					
甲状腺がん(効能追加)	308試験	中国	PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
腎細胞がん・ファーストライン(効能追加) (抗がん剤エベロリムスまたは抗PD-1抗体ペム ブロリスマブとの併用療法)	307試験	日米欧	PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
○ 子宮内膜がん・セカンドライン (抗PD-1抗体ペムブロリスマブとの併用療法)	309試験	日米欧	PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
肝細胞がん(効能追加)	304試験			◎ 米国 承認(2018年8月) ◎ 欧州 承認(2018年8月) 米メルク社 ◎ 中国 承認(2018年9月) と共同開発 ◎ アジア 承認(2018年8月・韓国)	経口剤
非小細胞肺癌(RET転座)(効能追加)	209試験	日米欧ア	PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
胆道がん(効能追加)	215試験	日本	PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
固形がん(子宮内膜がん、腎細胞がん、頭頸部がん、 尿路上皮がん、非小細胞肺癌、メラノーマ) (抗PD-1抗体ペムブロリスマブとの併用療法)	111試験 —	米国 日本	PⅠ/Ⅱ PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤
肝細胞がん (抗PD-1抗体ペムブロリスマブとの併用療法)	—	日米	PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤
肝細胞がん (抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法)	—	日本	PⅠ	小野薬品と共同開発	経口剤

開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレツズマブ

薬効/作用機序：抗がん剤/ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体		自社品			
<p>[概要] 葉酸受容体α(FRA)に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。</p>					
ブラチナ感受性卵巣がん	O11試験	日米欧	PⅡ		注射剤

開発品コード：MORAb-004

薬効/作用機序：抗がん剤/ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体		自社品			
<p>[概要] Tumor endothelial marker 1(TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。</p>					
メラノーマ	201試験	米欧	PⅡ		注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効/作用機序：抗がん剤/キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体		自社品			
<p>[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。</p>					
中皮腫	O03/201試験	米欧	PⅡ		注射剤

○：2018年4月以降の進捗、◎：2018年7月以降の進捗

開発品コード：E7777

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤	自社品
[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上の IL-2 受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。	
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験 日本 PII 注射剤

開発品コード：E7438 一般名：tazemetostat

薬効／作用機序：抗がん剤／EZH2阻害剤	導入品 (Epizyme)
[概要] ヒストンメチル基転移酵素を構成するたんぱく質の一つである EZH2 は、エピジェネティック関連酵素として、発がんプロセスにおいて重要な役割を担っていると考えられています。E7438 は、Epizyme 社が独自の創薬プラットフォームから創製した、ファーストインクラスの経口投与可能な低分子化合物であり、EZH2 の阻害を介した抗腫瘍効果が期待されています。エーザイは本剤の日本における開発・商業化権とアジア地域における優先交渉権を保有しています。	
B細胞性非ホジキンリンパ腫	206試験 日本 PII 経口剤

開発品コード：H3B-6545

乳がん	米国 PI/II 自社品 経口剤
-----	------------------

開発品コード：E7090

固形がん	日本 PI 自社品 経口剤
------	---------------

開発品コード：H3B-6527

肝細胞がん	米欧 PI 自社品 経口剤
-------	---------------

開発品コード：H3B-8800

血液がん	米欧 PI 自社品 経口剤
------	---------------

開発品コード：E7386

固形がん	欧州 PI 共同創出品 (PRISM Pharma) 経口剤
------	--------------------------------

開発品コード：MORAb-202

固形がん	日本 PI 自社品 注射剤
------	---------------

開発品コード：E7130

固形がん	日本 PI 共同創出品 (ハーバード大学) 注射剤
------	---------------------------

OMORAb-066 について、米国でフェーズ I 段階にありました固形がんを対象とした開発を中止したため、本表から削除しました。

(3) 消化器

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ α 4インテグリン阻害剤			自社品
[概要] α 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 α 4インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。			
潰瘍性大腸炎	日本	PⅢ	EAファーマとキッセイ 経口剤 薬品の共同開発

開発品コード：AJG555 一般名：マクロゴール4000、塩化ナトリウム、炭酸水素ナトリウム、塩化カリウム
製品名：モビコール配合内用剤

薬効／作用機序：慢性便秘症治療剤／ポリエチレングリコール製剤			導入品 (Norgine)
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。			
◎ 慢性便秘症	CT1/CT2試験	日本 承認 (2018年9月) EAファーマと持田製薬の共同開発	経口剤

一般名：イソロイシン・ロイシン・バリン顆粒 製品名：リーバクト配合顆粒

薬効／作用機序：分岐鎖アミノ酸製剤			自社品
[概要] 味の素が開発した分岐鎖アミノ酸製剤であり、非代償性肝硬変における血清アルブミン値を改善する薬剤です。日本では「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善」を効能・効果とし、EAファーマより販売されています。			
低アルブミン血症	中国	PⅢ	2018年度申請予定 EAファーマと共同開発 経口剤

開発品コード：E6007

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／インテグリン活性化阻害剤			自社品
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として筑波大学と共同で開発を進めています。			
潰瘍性大腸炎	201試験	日本	PⅡ EAファーマが開発 経口剤

OE6130 について、日本でフェーズⅠ段階にありました炎症性腸疾患を対象とした開発を中止したため、本表から削除しました。

(4) その他

開発品コード：E6011

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体			自社品
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。関節リウマチや炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。			
関節リウマチ	201/202試験	日本	PⅡ 注射剤
原発性胆汁性胆管炎	ET1試験	日本	PⅡ EAファーマが開発 注射剤
◎ クローン病	ET2試験	日欧	PⅡ EAファーマが開発 注射剤

開発品コード：MORAb-022

関節リウマチ (抗体)	米国	PⅠ	自社品 注射剤
-------------	----	----	---------

開発品コード：E6742

自己免疫疾患	米国	PⅠ	自社品 経口剤
--------	----	----	---------

○：2018年4月以降の進捗、◎：2018年7月以降の進捗